

## 現役世代の保有金融資産の中央値 2 倍達成へ向けた課題

- 資産所得倍増プランの実現による安定的な資産形成の実現 -

【添付資料：つみけん Targets 及びモニタリング指標 グラフ】

### つみけん Targets

- 1 現役世代の家計金融資産を 2 倍に
- 2 積立投資総件数を 4,000 万件に
- 3 つみたて NISA、DC の残高を 150 兆円に
- 4 株式や投資信託を保有している人を 100%に
- 5 金融教育を受けたことがある人を 100%に

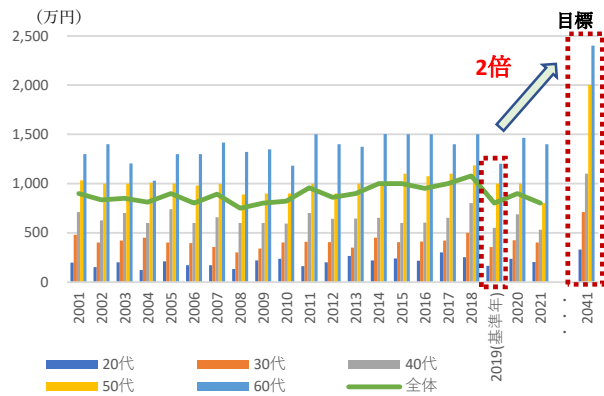
### Targets を補足する 16 のモニタリング指標

- 1 金融資産非保有世帯の割合
- 2 株式・投資信託構成割合
- 3 DC（企業型・個人型）加入者数と加入率
- 4 DC で投資信託を 1 本以上保有している人の割合
- 5 小規模企業での企業型 DC 導入割合と自営業者の個人型 DC 加入率
- 6 企業型の DC 向けファンドの協会分類
- 7 つみたて NISA 口座開設数・口座開設率・一般 NISA の積立契約件数
- 8 つみたて NISA 非稼働率
- 9 積立投資の意識がありながら口座開設にいたっていない割合
- 10 非課税制度認知度（NISA、つみたて NISA、DC（企業型・個人型））
- 11 指定運用方法の実践割合
- 12 投資信託平均保有期間
- 13 DC 残高
- 14 つみたて NISA 残高
- 15 FP 相談件数
- 16 金融能力

令和 5 年 3 月 9 日

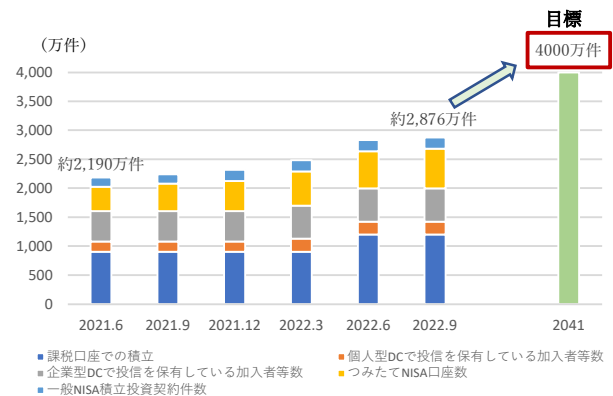
添付資料：つみけん Targets 及びモニタリング指標 グラフ

Target1：年代別家計金融資産中央値（金融資産保有世帯）



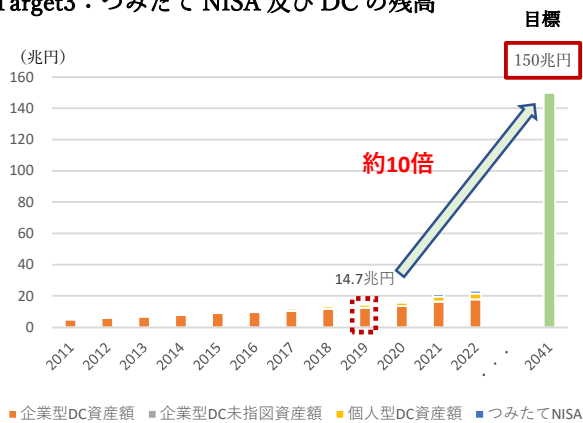
(出所) 2001-2021年のグラフについては金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査（二人以上世帯調査）」より作成

Target2：積立投資総件数



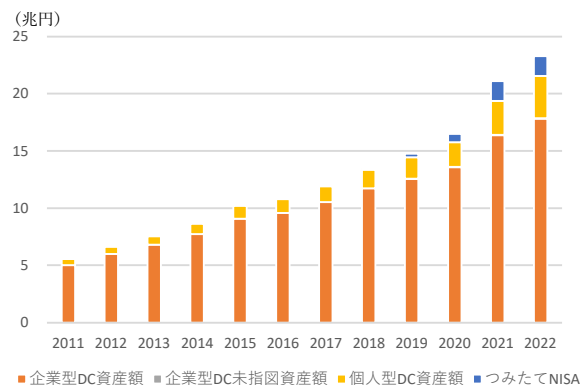
(出所) 金融庁「NISA・ジュニア NISA 利用状況調査」、運営管理機関連絡協議会「確定拠出年金統計資料」等より作成

Target3：つみたて NISA 及び DC の残高



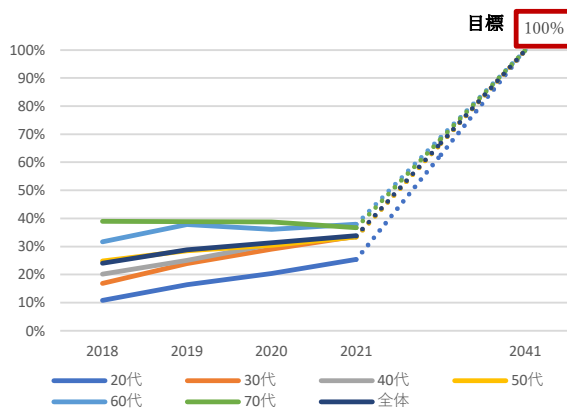
(出所) 2011-2022年のグラフについては金融庁「NISA・ジュニア NISA 利用状況調査」、運営管理機関連絡協議会「確定拠出年金統計資料」より作成

Target3：つみたて NISA 及び DC の残高（2011-2022）



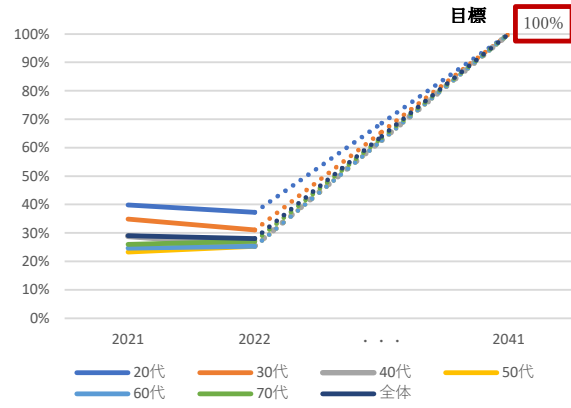
(出所) 金融庁「NISA・ジュニア NISA 利用状況調査」、運営管理機関連絡協議会「確定拠出年金統計資料」より作成

Target4：株式・投資信託を保有している人の割合



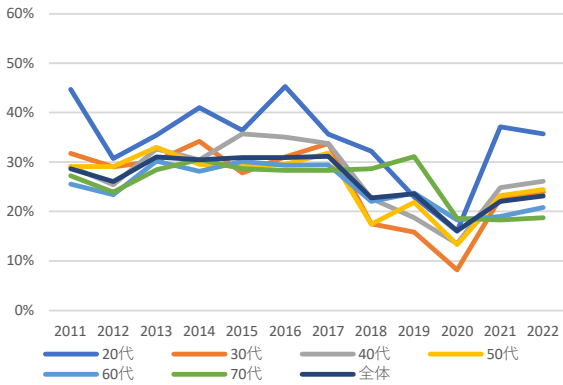
(出所) 投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査（NISA、iDeCo等制度に関する調査）」（個票データ）より作成

Target5：金融教育を受けた人の割合



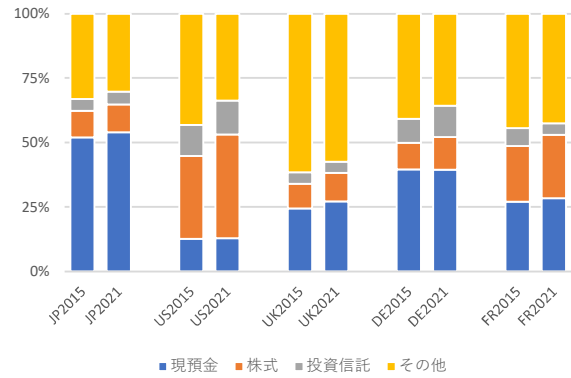
(出所) 投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査（投資信託全般）」より作成

モニタリング指標 1：金融資産非保有世帯の割合



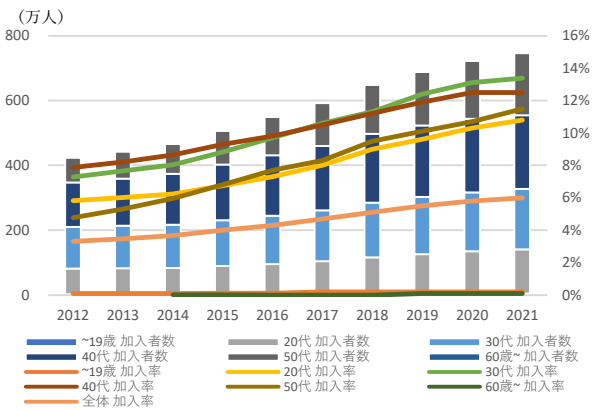
(出所) 金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査(二人以上世帯調査)」より作成

モニタリング指標 2：株式・投資信託構成割合



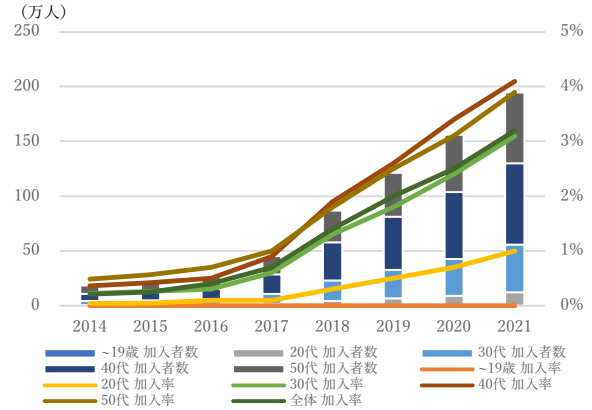
(出所) OECD データベースより作成

モニタリング指標 3-1：企業型 DC 加入者数と加入率



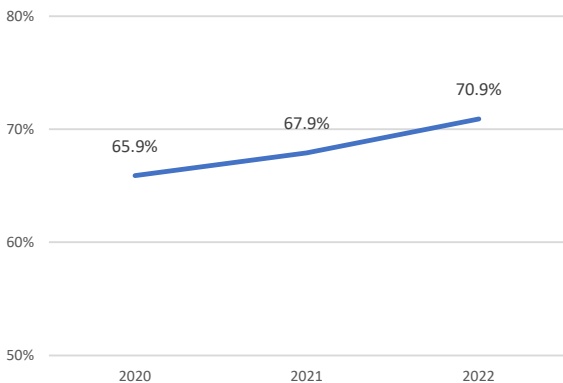
(出所) 運営管理機関連絡協議会「確定拠出年金統計資料」及び総務省統計局「人口推計」より作成

モニタリング指標 3-2：個人型 DC 加入者数と加入率



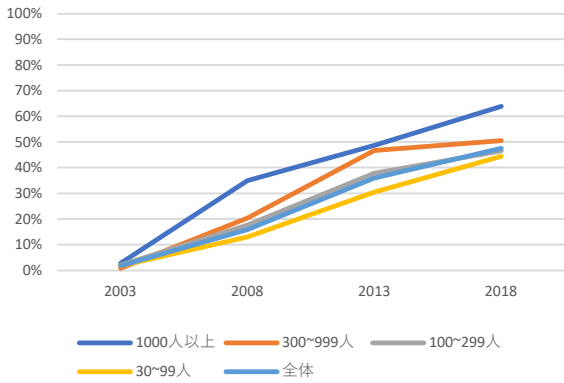
(出所) 運営管理機関連絡協議会「確定拠出年金統計資料」及び総務省統計局「人口推計」より作成

モニタリング指標 4：DCで投資信託を1本以上保有している人の割合



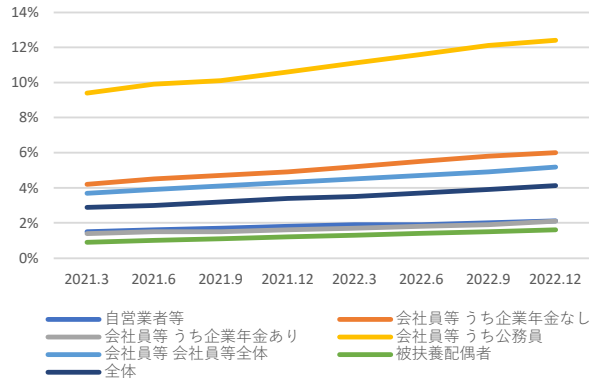
(出所) 運営管理機関連絡協議会「確定拠出年金統計資料」より作成

モニタリング指標 5-1：小規模企業での企業型 DC 導入割合



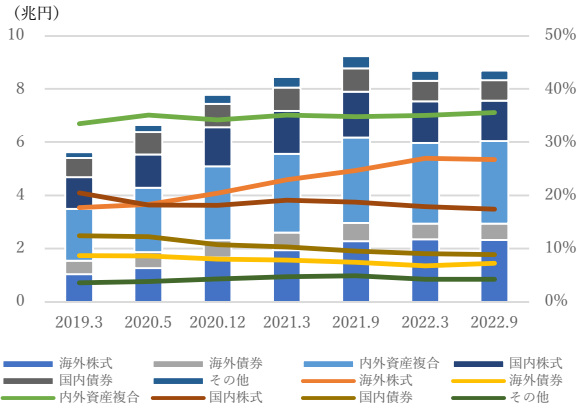
(出所) 厚生労働省「就労条件総合調査」より作成

モニタリング指標 5-2：自営業者等の iDeCo 加入率



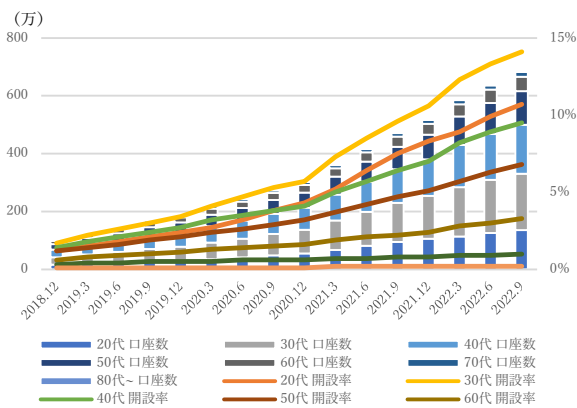
(出所) 国民年金基金連合会「加入等の概況」、信託協会「企業年金の受託概況」及び厚生労働省「厚生年金保険・国民年金事業の概況」より作成

モニタリング指標 6：企業型 DC 向けファンドの協会分類



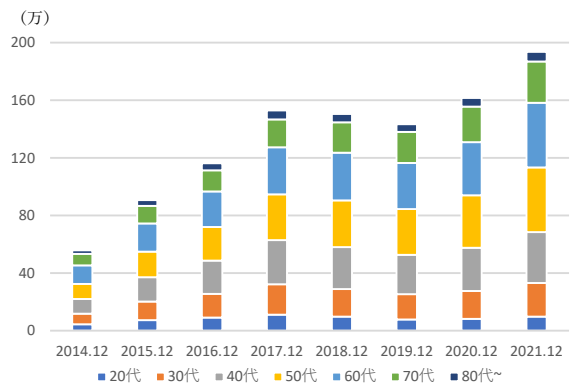
(出所) 投資信託協会「ファクトブック」より作成

モニタリング指標 7-1：つみたて NISA 口座開設数・口座開設率



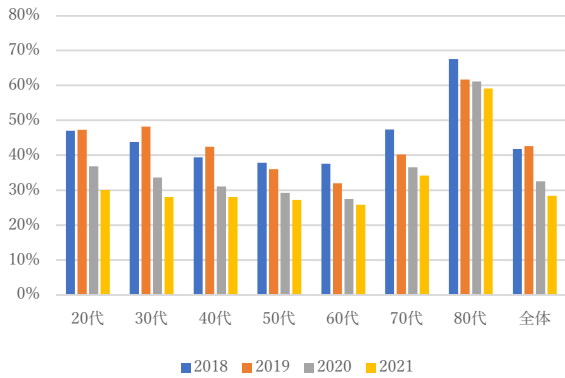
(出所) 金融庁「NISA・ジュニア NISA 利用状況調査」、総務省統計局「人口統計」より作成

モニタリング指標 7-2：一般 NISA の積立契約件数



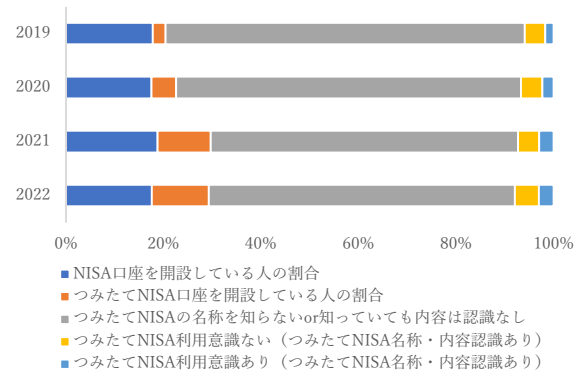
(出所) 金融庁「NISA・ジュニア NISA 利用状況調査」より作成

モニタリング指標 8：つみたて NISA 非稼働率



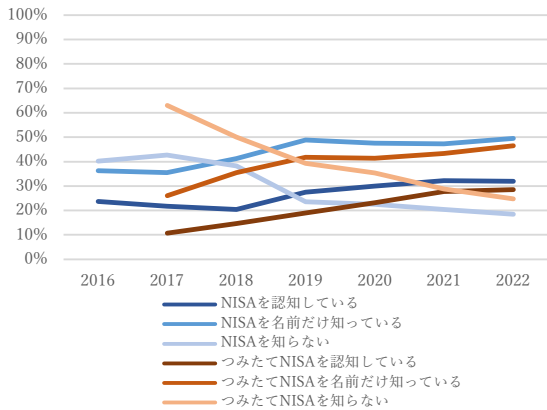
(出所) 金融庁「NISA・ジュニア NISA 利用状況調査」より作成

モニタリング指標 9：積立投資の意識がありながら口座開設にいたっていない割合



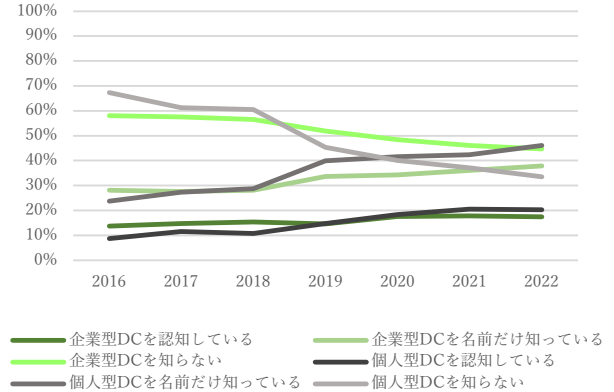
(出所) 投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査 (NISA、iDeCo 等制度に関する調査)」より作成

モニタリング指標 10-1：非課税制度認知度 (NISA)



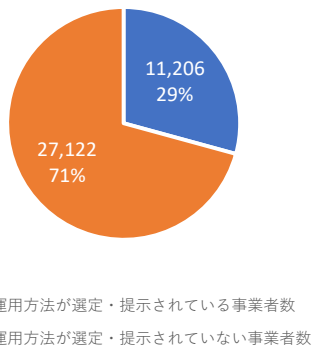
(出所) 投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査 (NISA、iDeCo 等制度に関する調査)」より作成

モニタリング指標 10-2：非課税制度認知度 (DC)



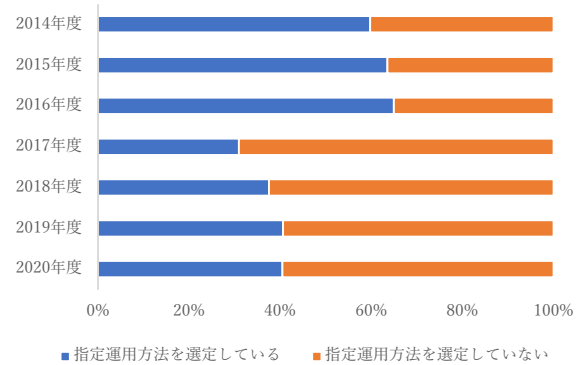
(出所) 投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査 (NISA、iDeCo 等制度に関する調査)」より作成

モニタリング指標 11-1：指定運用方法の実践割合 (企業型 DC)



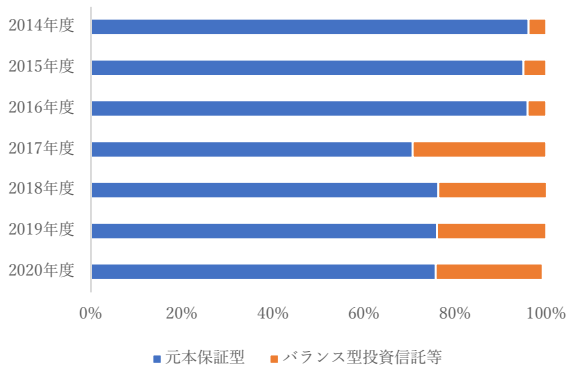
(出所) 厚生労働省(2021)「企業年金の運用実態について」より作成

モニタリング指標 11-2：指定運用方法の実践割合 (企業型 DC)



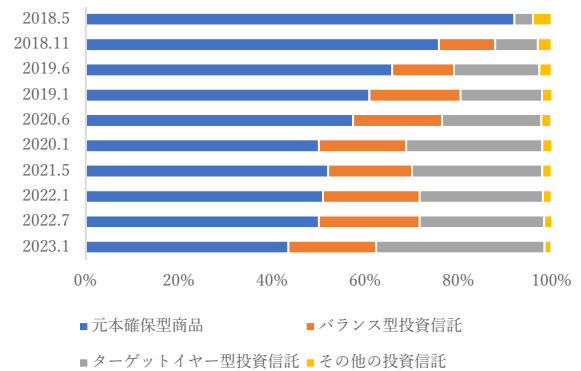
(出所) 企業年金連合会「確定拠出年金実態調査結果」より作成

モニタリング指標 11-3：企業型 DC 指定運用方法の商品選定状況



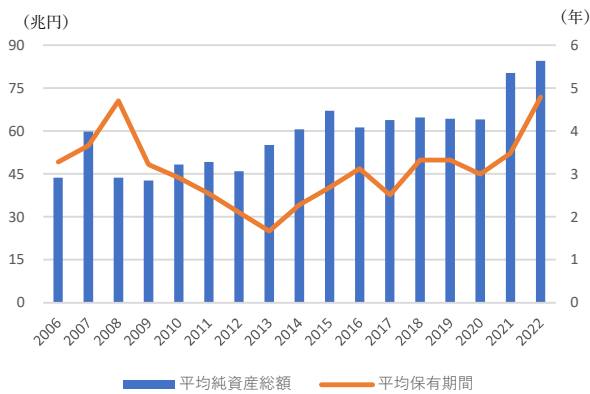
(出所) 企業年金連合会「確定拠出年金実態調査結果」より作成

モニタリング指標 11-4：個人型 DC 指定運用方法の商品選定状況



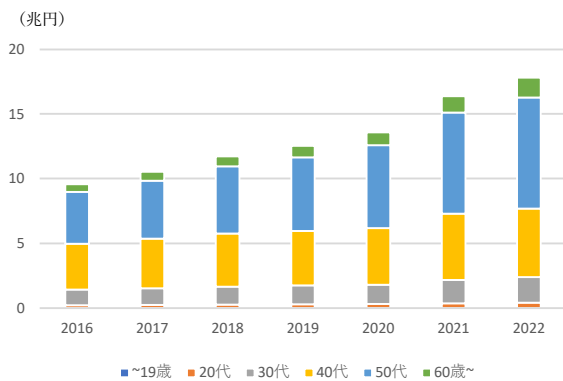
(出所) 国民年金基金連合会「指定運用方法及び当該指定運用方法を選定した理由」より作成

モニタリング指標 12：投資信託平均保有期間



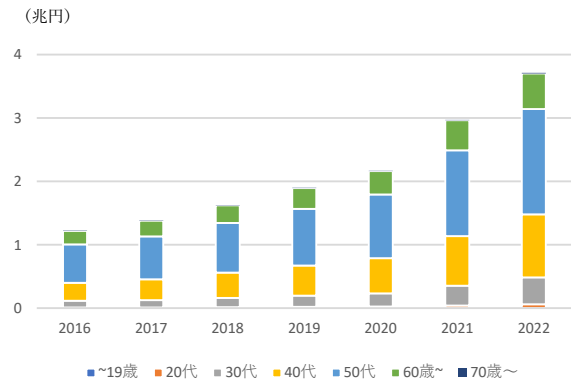
(出所) 投資信託協会統計データより作成

モニタリング指標 13-1：DC 残高 (企業型)



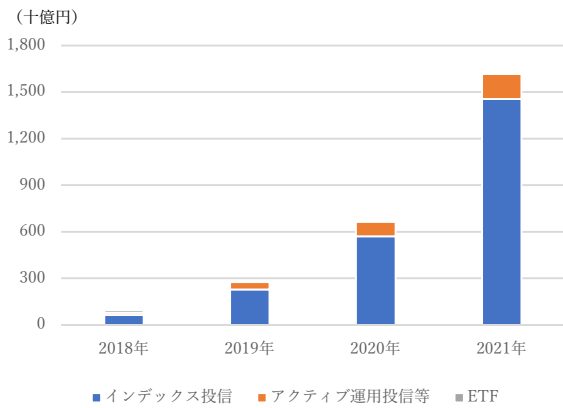
(出所) 運営管理機関連絡協議会「確定拠出年金統計資料」より作成

モニタリング指標 13-2：DC 残高 (個人型)



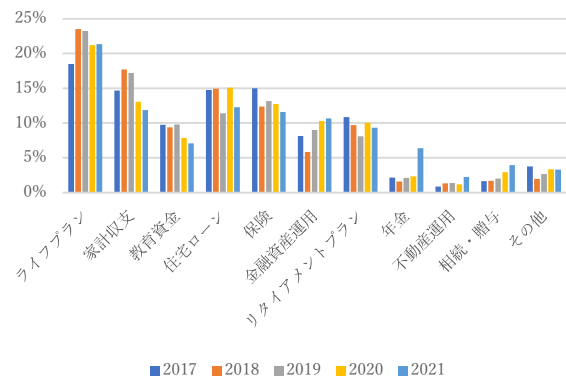
(出所) 運営管理機関連絡協議会「確定拠出年金統計資料」より作成

### モニタリング指標 14：つみたて NISA 残高



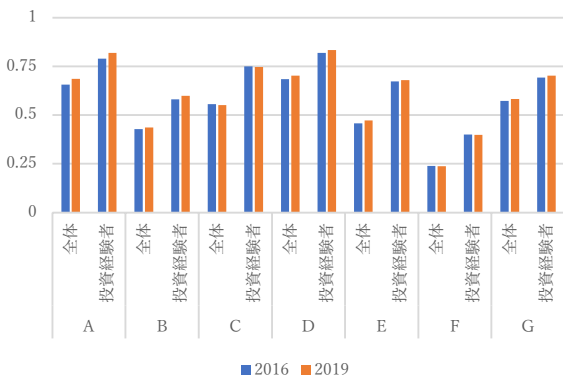
(出所) 金融庁「NISA・ジュニア NISA 利用状況調査」より作成

### モニタリング指標 15：FP 相談テーマ



(出所) 日本 FP 協会「日本 FP 協会実施 FP 無料体験相談「くらしとお金の FP 相談室」実施状況・年度別集計データ」より作成

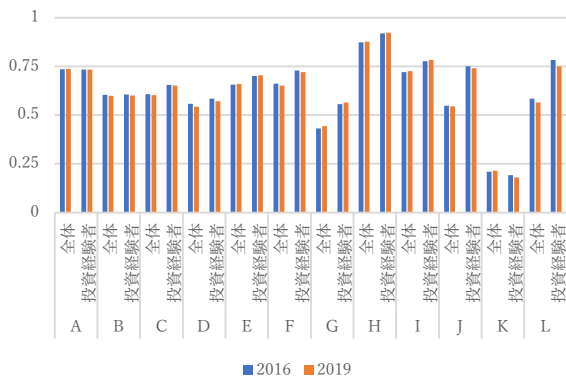
### モニタリング指標 16-1：金融能力（金融リテラシー）



(出所) 金融広報中央委員会「金融リテラシー調査」(個票データ)より作成

- A：金利計算ができる
- B：複利計算ができる
- C：インフレーションと利息の関係を理解している
- D：住宅ローンの返済と金利の関係を理解している
- E：資産形成における分散投資効果を理解している
- F：債券価格と金利の関係を理解している
- G：その他、金融知識問題 19 問の平均

### モニタリング指標 16-2：金融能力（金融コンピテンシー・ケイパビリティ）



(出所) 金融広報中央委員会「金融リテラシー調査」(個票データ)より作成

- A：何かを買う前に、それを買う余裕があるかどうか注意深く考える
- B：類似する商品が複数あるとき、自分が「良い」と思ったものよりも、「これが一番売れています」と勧められたものを買うことが少ない
- C：お金を貯めたり使ったりすることについて、長期の計画を立て、それを達成するよう努力する
- D：先行きのためにお金を貯めるより、今お金を使う方が満足感が高いと思わない
- E：その日暮らして明日のことは明日また考えればよいと考えない
- F：自分のお金の運用や管理について、十分注意している
- G：投資や預金をするときには、お金を損することがあってもしかたがないと思う
- H：1 か月の収入の金額を把握している
- I：1 か月の支出の金額を把握している
- J：万が一の事態に備えて、3 か月間分の生活費を確保している
- K：他の人と比べて自己の金融知識のレベルを正しく認識している
- L：日常的に金融経済情報に接触している